

山形県感染症発生動向調査 週報

2026年 第19週
(2026年5月4日~2026年5月10日)

2026年5月13日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109

< 定点把握感染症 >

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

定点種別	感染症	全国			山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
		第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	
急性呼吸器感染症	内科・小児科 (定点医療機関数)	(38)			(7)			(10)			(3)			(6)			(12)						
	インフルエンザ	1500	99	34	▼	12	6	▼	13	3	▼	13	4	▼	51	16	▼	10	5	▼	9639		
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	2170	30	16	▼	1	1	▼	11	3	▼	1	2	▲	13	7	▼	4	3	▼	1784		
小児科定点	(定点医療機関数)	(25)			(6)			(7)			(2)			(3)			(7)						
	RSウイルス感染症	982	36	14	▼	4	1	▼	12	7	▼	1		▼	16	4	▼	3	2	▼	611		
	咽頭結膜熱	745	9	3	▼	1		▼	1	2	△		1	△	5		▼	2		▼	169		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7214	131	53	▼	19	4	▼	67	26	▼				27	12	▼	18	11	▼	2289		
	感染性胃腸炎	11088	92	61	▼	15	8	▼	14	16	△	21	4	▼	11	18	△	31	15	▼	2993		
	水痘	849	7	31	△		4	△	2	10	△		8	△				5	9	△	301		
	手足口病	858		1	△											1					14		
	伝染性紅斑	157	2	3	▲	2	2						1	△							86		
	突発性発しん	742	7	6	▼	3	3					1		▼	2		▼	1	3	△	156		
	ヘルパンギーナ	207																			3		
	流行性耳下腺炎	95		1	△		1	△													5		
眼科定点	(定点医療機関数)	(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)						
	急性出血性結膜炎	6																			0		
流行性角結膜炎	258	2	2					1	1		1	1								85			
基幹定点	(定点医療機関数)	(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	37																			1		
	クラミジア肺炎	11																			0		
	マイコプラズマ肺炎	85																			40		
	細菌性髄膜炎	9	1	1											1		▼		1	△	5		
無菌性髄膜炎	22																			2			

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 通信欄 >

〇トピックスで、「水痘」について掲載しています。

警報・注意報の基準値(参考値)

疾病名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

種別点	感染症	年齢別													合計		
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳		20～29歳	
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科																
	インフルエンザ			4		8	2	3	3	1		1	4	3		34	
		30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～										
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	16	
1		1				2					1			2			
30～39歳		40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～											
小児科定点	RSウイルス感染症	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	14	
	咽頭結膜熱			1	4	2	3	4								3	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2		6	8	4	10	4	4	3	9	1	2	53	
	感染性胃腸炎		6	10	5	5	1	5	3	6	1	4	12	1	2	61	
	水痘					1	1	2	3	4	6	8	6			31	
	手足口病			1												1	
	伝染性紅斑						2						1			3	
	突発性発しん		1	5												6	
	ヘルパンギーナ															0	
	流行性耳下腺炎									1						1	

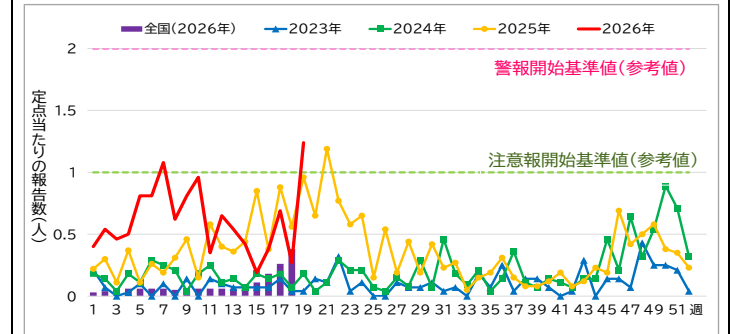
< 全数把握感染症 >

感染症	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核					1	第11週 追加報告
腸管出血性大腸菌感染症	1					型別:O26 VT1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					第18週 追加報告
梅毒	1	1				第17週 追加報告(1)
百日咳		1				第18週 追加報告、ワクチン接種歴:4回

< トピックス >

水痘が注意報レベル(参考値)を上回りました

第19週における水痘の県定点当たり報告数は1.24人で、注意報レベルの基準値(参考値)を上回りました。保健所別では置賜以外の4保健所で前週よりも定点当たり報告数が増加しました。最上保健所では警報レベル、村山・庄内保健所では注意報レベルとなっています。



水痘とは

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。空気感染、飛沫感染、接触感染により広がり、潜伏期間は2週間程度です。水痘は9歳以下での発症が90%以上を占めると言われ、成人で水痘を発症した場合は重症化するリスクが高いと言われています。

症状

発しんを発現する前から発熱が認められ、典型的な症例では、発しんは紅斑(皮膚の表面が赤くなること)から始まり、水疱(水ぶくれ)、膿疱(粘度のある液体が含まれる水疱)を経て痂皮化(かひか:かさぶたになること)して治癒するとされています。

予防と対策

水痘ワクチン1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられています。家庭内での感染を防ぐため、水疱に触れた後の手洗いやタオルの共用を避けることが重要です。

詳しくはこちらへ

厚生労働省



国立健康危機管理研究機構(JIHS)



【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

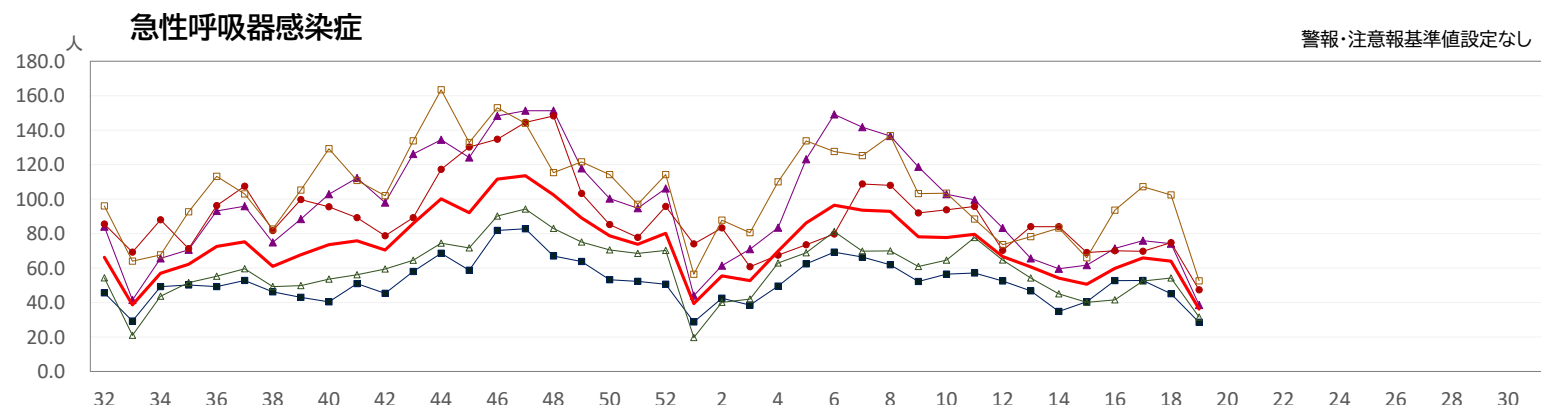
感 染 症	全国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
	第18週	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(37)			(7)			(10)			(3)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	212929 57.69	2432 64.00	1339 36.19	▼	519 74.14	270 38.57	▼	451 45.10	285 28.50	▼	299 74.75	142 47.33	▼	512 102.40	263 52.60	▼	651 54.25	379 31.58	▼	48116

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県													合計
	第19週													
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1~ 4歳	5~ 9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳~		
急性呼吸器感染症	117	552	298	117	35	23	35	40	36	37	27	22	1339	

< 定点当たり報告数グラフ >



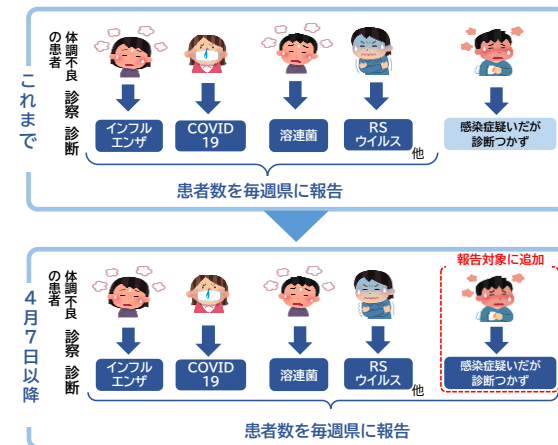
急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が2025年4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ ▶▶▶

